

愛知県立芸術大学 RDMの現状と課題

2025.6.16 NIIオープンフォーラム
「挑戦の現場のリアルから考える、研究データ管理
—限られた資源で突破する知恵と連携—」

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 伊藤 江梨



本学について

愛知県立芸術大学

研究分野：芸術（美術・音楽）

学生数：961名（学部生790名、大学院生171名）

教職員数：137名（専任教員88名、常勤職員49名）

※2024.5.1現在

大学組織			
美術学部	美術科	日本画専攻	
		油画専攻	
		彫刻専攻	
		芸術学専攻	
	デザイン・工芸科	デザイン専攻	
		陶磁専攻	
		メディア映像専攻	
大学院美術研究科		美術専攻	
音楽学部	音楽科	作曲専攻	作曲コース
			音楽学コース
		声楽専攻	
		器楽専攻	ピアノコース
			弦楽器コース
			管打楽器コース
		大学院音楽研究科	
芸術教育・学生支援センター			
社会連携センター			
芸術情報センター		図書館	
芸術資料館			
文化財保存修復研究所			

RDMに関する本学の取り組み

2023

研究活動について包括的な議論を行う組織がなく、学内における研究データの実態も未把握

2024

- ・ 図書館を所管する芸術情報センターに研究推進の機能を加え、組織体制を整備（4月）
- ・ 研究データ管理・ポリシー策定の必要性について、学内で問題提起 ⇒ センターへ策定指示（7月）
- ・ 研究データの保有・管理・公開状況に関するアンケート設計・実施（9月～1月）
- ・ アンケート結果を踏まえた研究データポリシーの策定を開始（12月～3月）
- ・ 研究データポリシー、オープンアクセスポリシー承認（3月）

2025

センター下部組織である研究推進・紀要委員会にて
研究データ公開に向けたリポジトリ運用要領を改定検討中（～現在）

RDM推進における本学の課題

【前提】 本学の主な研究活動＝**芸術諸分野における創作・表現活動**

研究成果の多くは論文ではなく、研究データの標準化が困難

⇒ RDMのメリットが全体として認識されづらく、
専門職員の雇用や予算計上も現時点では見込めない

01

目的の共有

「やらなければならない」義務感ではなく、「研究の価値を高める」主体的な動機への転換

02

持続可能な体制構築

恒常的に情報収集し、知見の獲得・蓄積ができる体制づくりを

03

RDM支援の優先順位づけ

「公開」を起点とした段階的整備の検討